



志村学園

読書の秋に寄せて ― 学校図書館の紹介 ―

副校長 加部 務



朝夕の空気に秋の深まりを感じる季節となりました。秋といえば「読書の秋」とよくいわれます。これは、暑さが和らぎ、夜が長くなることで、古くから本に親しむのに最適な季節であるといわれてきたためです。

本校の図書館も、まさに読書の秋にふさわしい空間となっています。児童・生徒の興味関心に合わせた様々な本がそろっています。毎月、西台図書館から100冊もの本をお借りして、月刊誌等も充実し、生徒の期待も高まっています。図書委員会では、生徒に親しみやすいよう、ポップを作成して「おすすめ本」を紹介したり、先生方にアンケートを行い「おすすめの一冊」を図書だよりで紹介したりしています。「読書週間」も計画中です。「アットホームでいい雰囲気」という生徒の声のとおり、昼休みに図書館に足を運ぶ生徒が増えました。学年を越えた交流の場として、生徒の憩いの空間にもなっています。

今後、新刊本の充実とともに、進路や職業に関する本の蔵書も増やしていく予定です。調べ学習や探究活動の場として、授業でも一層活用していきたいと考えています。そして、ひとりでも多くの生徒が図書館を訪れ、本との出会いを楽しみ、豊かな心を育ててほしいと願っています。

さて、今日から後期のスタートです。1年生は、すぐに移動教室があります。2年生は、コースの所属が決定し、その専門性を深めていきます。そして、3年生は、いよいよ進路決定に向けて本格的に動き出します。

後期も教育活動の一層の充実に教職員一同努めてまいります。引き続き、皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



海外派遣研修報告

2 学年引率教員 石井 弓子

8月23日から29日までの6泊7日の日程で令和7年度都立高校生海外派遣研修スペシャリストコースが実施され、ニュージーランドのオークランドとワンガヌイを訪問しました。本校からは2年生の生徒2名が参加しました。ワンガヌイでは、牧場、大学、企業、工場、高校、美術館、博物館と様々な場所を訪問しました。ワンガヌイ高校では、マオリ



族の歓迎のセレモニーをしてもらい、さらにボールゲームを通して交流を深め、現地の高校生とコミュニケーションを取ることができました。オークランドでは、総領事館の松井総領事からお話をいただいたり、スカイタワー、博物館、市場調査に行ったりしました。ワンガヌイでとオークランド両方の都市で、マオリ族の伝統的な文化と自然を大切にする姿勢を感じることができました。最初は緊張していた二人でしたが、最後には自分から英語でコミュニケーションを取ろうとする姿が見られ、大きな成長を感じました。後日、校内報告会で成果を還元します。

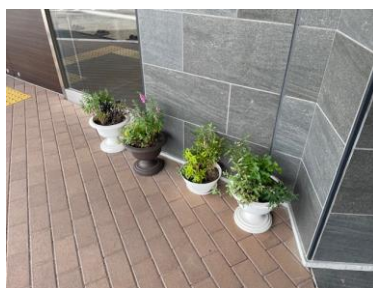


介護コミュニケーションコース

コース担当 武田 亘生

就業技術科の介護・コミュニケーションコースの3年生は、週1回、サービス付き有料老人ホームのローベル西台で授業内実習を行っています。コースに所属する生徒が実社会の中で働くことで、社会人としての心構えや職場での仕事の意味や責任を知る経験にしています。

今年の6月から実習を開始し、廊下やトイレ等の共用部分の清掃作業や、各行事に向け、飾り物を作成して掲示するなどの作業に取り組んでいます。最近では、鉢に苗の植え替え作業を行いました。入口のエントランスに会場を設営し、参加された利用者さん一人一人に目線を合わせ寄り添いながら作業を進めました。生徒にとって高齢者の方との関わりは楽しい時間でもあり、会話が続くか緊張する時間でもあります。「きれいなお花ですね」「一緒にお花を持ってくれますか」などお花の話を中心にしながら相手の様子を伺っていました。無事にお花を鉢に植え替えることができ、「きれいにできた」と高齢者が喜ぶ姿を見て、緊張が解け、安心したように生徒も笑顔になっていました。これからもローベル西台さんでの作業や高齢者との関わりを通して、社会や人の役に立っている実感が得られる経験を増やしていけるように取り組んでいきます。



あいさつ運動

2 学年学級委員会担当 寺島 香織

学級委員会の活動の一環として、9月9日(火)~9月12日(金)の期間に、第1回あいさつ運動が行われました。毎朝、各クラスの学級委員が日替わりで図書室前に立ち、登校してきた生徒の皆さんに、「おはようございます」と挨拶をしました。

あいさつ運動は、9月以降の現場実習に向けて、改めて職場での挨拶の意識を高めることも目標の一つとなっています。委員会の授業では、あいさつ運動担当の生徒を中心に、挨拶の意識を高めるにはどうしたらよいかについて話し合いをしました。「明るいトーンで挨拶をすると、良い印象につながると、進路の先生からアドバイスがありました」、「学級委員から、ホームルームであいさつ運動の呼びかけをしましょう」など、より良い活動にするための意見も共有しました。係の生徒が発案した啓発ポスターも作成し、玄関に掲示しました。こうして迎えた当日は、「あいさつは自分から」の標語の元に、気持ちの良い挨拶の音が響く4日間となりました。

次回は1月を予定しています。社会において、コミュニケーションの基礎となる挨拶の大切さについて、これからも生徒が中心となって考える機会になることを願っています。

